



2020年2月7日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号:4588)
問 合 せ 先 取締役管理担当 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

通期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日公表の2019年12月期(2019年1月1日~2019年12月31日)の業績につきまして、2018年12月期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2019年12月期通期業績と2018年12月期実績値との差異について
2019年12月期(2019年1月1日~2019年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	168	△1,247	△1,230	△1,233	△104.55円
当期実績(B)	1,303	△511	△539	△912	△65.55円
差異額(B-A)	1,135	736	691	321	—
差異率(%)	673.5	—	—	—	—

2. 差異の生じた理由

当社は創業以来がんのウイルス療法テロメライシン(OBP-301)の研究開発及びビジネス活動を進めてきましたが、2019年4月に中外製薬とテロメライシンに関する独占的ライセンス契約及び資本提携契約を締結し、契約一時金として2019年5月に5.5億円を受領しました。また、2019年12月に第1回マイルストーンを達成し、契約一時金に追加で5億円が売上高に計上されました。その結果、売上高は前年同期と比較して大幅に増加し1,303百万円となりました。

また、利益面では、テロメライシンを中心とした当社パイプラインの研究開発の進展等による販売費及び一般管理費の増加や、投資有価証券評価損等の特別損失を計上するなど費用総額は増加しましたが、売上高の大幅増加により前期実績と比較して増益となりました。

以上